

# 白門58会通信

第2号

平成23年6月20日(月)

発行者 白門58会 (中央大学学生会 58会支部設立準備会) <http://www.ene-web.com/chuo/chuo58@noracom.co.jp>  
 東京都新宿区高田馬場2-14-6 アライビル7階 コンサルファーム有限会社 内

東日本大震災により被害を受けられたみなさまに、謹んでお見舞いを申し上げます。震災被害の沈静化と一日も早い復旧を心よりお祈りいたします。

## 白門58会 2011年総会

### 2011年総会議事 (予定)

- 1 議長選出
- 2 2010年度活動・決算報告
- 3 2011年度活動・予算案審議
- 4 その他

※参加ご希望の方は別紙「総会参加申込書」をご送付ください。  
 ※総会参加の際は、維持費(募金含む)3,000円を「事前払い込み」・「当日持参」のいずれかでお支払いください。  
 ※懇親会参加の場合は、別途5,000円を懇親会場受付にてお支払いください。  
 ※ご参加の方はホームページまたはメールでご連絡ください。  
 ホームページ <http://www.ene-web.com/chuo/>  
 メール [chuo58@noracom.co.jp](mailto:chuo58@noracom.co.jp)

2011年8月27日 土曜日 15時開会

成城ホール4階 (小田急線「成城学園前駅」下車徒歩4分)  
 世田谷区成城6-2-1 TEL03-3482-1313

## 同期生ネットワークを拡充し 親睦と研鑽の場に

白門58会は昨年6月12日の設立総会において、中央大学学生会への支部設立申請を決定し、手続きを進めていましたが、平成23年度より学生会支部として正式に認定されました。申請に向けてご協力いただいた皆様に改めて感謝申し上げます。

### 学生会総会で承認

中央大学学生会は中央大学が公認するOB会組織で、地域や職域、卒業年次などさまざまなジャンルの同窓会を束ねています。学生会への加入は任意ですが、現在は、多くの卒業生が卒業と同時に会員となり、卒業年次ごとに「年次支部」を設立しています。年次支部は卒業年次を同じくする「同期会」のことで、学生会に加入している者が100名以上在籍・賛同した場合に、学生会支部として認定されます。

昭和58年卒業(または昭和54年入学)の同期生の集まりである当・白門58会は、設立総会において学生会支部申請要件を満たしたことが確認され、総会議事および諸手続き書類を学生会事務



2010年6月12日 設立総会開催。懇親会に久野修慈理事長もご参加  
 昨年6月12日に開催された設立総会については、「学員時報」に報告した通りです。ご来賓の学生会・松本将男副会長(写真前列中央)のご配慮により、懇親会では久野修慈理事長・学生会長も登場していただくというサプライズがありました。

局に提出し、年次支部設立申請を行いました。その後、審査を経て承認され、去る5月14日に開催された学生会総会において「支部旗の授与」を受け、正式に学生会支部として認定されました。

今後当会(正式名「中央大学学生会58会支部」、通称「白門58会」)は「母校の興隆と発展に寄与する」という学生会の目的達成に協力するとともに、同期生ネットワークの拡充、相互の親睦と研鑽に努めていきます。今後とも皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

## 東日本大震災被災学生への支援にご協力を

東日本大震災では、中央大学在学学生、新入生やその家族の中にも、被災した方が数多くいるようです。大学は、義援金やこれらの学生への授業料減免などの措置を講じていくこととしていますが、同時に被災された地域に世帯のある学部生・大学院生(新入生含む)に対する奨学金を「募金」として募っています。この募金は、現在進めている「125周年募金」の「使途限定」として集められるもので、「義援金」との違いは、その使途が「(被災世帯の学生の)奨学金」に限定されていることです。当会ではこれに賛同し、当会会員から集めた維持費から寄付を行うことを幹事会で決定しました。募金は右記の要領で行います。ご協力よろしくお願いします。

- 維持費の半額を募金として寄付
- 募金+維持費 1口3,000円(1口から受付)
  - 当会郵便振替口座に振り込み(同封の郵便振替用紙をご利用ください)
  - 維持費分を差し引いた額を大学の「125周年募金(被災世帯の学生の奨学金使途限定)」に入金します。(年度末に予定)
  - 目標 設定はしませんが、昨年度の維持費(協賛金)実績程度の場合、100,000円以上の寄付を見込んでいます。
  - 寄付者へのお礼 125周年式典等で配布された書籍「タイムトラベル中大125」(非売品)を謹呈します。
- ※直接募金される方(「維持費分も奨学金へ」という方)は、大学ホームページでご確認ください。

### 編集後記

3.11は都心部で多くの「帰宅難民」が出た。徒歩で帰る人、帰ることをあきらめた人のために、都心部の多くの大学が、トイレ休憩や宿泊スペースとしてキャンパスを開放した。  
 しかし、わが中央大学はロックアウトをした。多摩校舎は施設の被害が心配されたからだそうだが、都心の後楽園も市ヶ谷のキャンパスも、駿河台記念館も同様であった。  
 早々にキャンパスを開放した青学や立教、そして明治、早稲田。深夜に三

田の正門を開けた慶応と、対応はさまざまだったが、わが白門は開かず。とても残念で悲しく感じたOBは、私だけではないだろう。  
 固有の事情はあったとしても、その後、それについての「反省」は、大学からは聞こえてこない。「想定外だったから仕方ない」ではどこかの会社と同じ。非常時にどのような判断をするかで、その「体質」のようなものが見えてくることもある。  
 行きがかりで母校支援の活動を手伝っているが、ときどきこのように、切ないことがある。(事務局長・中川順一)

本会報は会員と58年卒業生(入会見込み者)、学生会各支部役員の方など約1,000名に送付しています。制作費、発送費は会員からの維持費(協賛金)と関係先からの広告料、幹事有志の名刺広告料(カンパ)でまかっています。維持費募集にご協力ください。  
 ◎被災学生支援募金+会維持費 3,000円以上。  
 振込先(武蔵府中郵便局)  
 00181-5-433209  
 白門58会  
 (ハクモンゴハチカイ)  
 広告も募集しています。詳しくは事務局まで。

白門58会  
会長  
**内村 愛**

白門58会  
幹事長  
**米山 真澄**

白門58会  
**幹事会有志**

**募集!!** 無報酬ですが……  
**白門58会 会報編集委員**  
 在宅で記事の作成や編集・校正をしてくれる方を募集しています。応募はメールで。

**同窓の異業種交流のご案内**  
 ビジネスマッチングのご相談も58会までメールにてお問い合わせください。白門ホームページにも掲載しています。  
[chuo58@noracom.co.jp](mailto:chuo58@noracom.co.jp)

ベネズエラ庶民を迫力あるエピソードで描いた楽しくてちょっぴり悲しい、団塊世代女性の物語

# ミ・ファミリア

悲しいのに笑い、泣きながら踊ったベネズエラの日々

全国有名書店、Amazonで  
**誠訪書房 好評発売中**

漢那 朝子 著  
 四六判 304頁 1,365円(税込)

58会会長(学員会58会支部長) 挨拶  
内村 愛

昨年の設立総会以来、1年ぶりのご挨拶になりますが、皆様お元気でお過ごしでしょうか。

東日本大震災では多くの方が被災され、いまなお不自由な生活をされている方もたくさんいらっしゃいます。まだ把握はしていませんが、同窓の仲間の中にも、影響を受けている方もいることでしょうか。1日も早い復旧と復興を願ってやみません。

さて、設立2年目の定時総会は、別記のように実施します。先輩である53会と共催のイベントも行いますので、多数の皆様のご参加をお待ちしています。

私たちの年代は、仕事や家庭でいろいろと忙しい時期ですから、こうした活動もなかなか参加しにくいと思います。私たち幹事も、将来のことを考えつつ、できることからやっていますので、ご理解とご協力をお願いします。

125周年記念式典で配布された  
中央大学史「タイムトラベル中大125」を謹呈

当会の「被災地学生支援使途限定・125周年募金」の趣旨に賛同し、3,000円以上を当会指定口座に振り込まれた方に謹呈します。

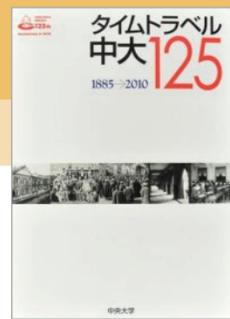
125周年記念式典で配布された中央大学史「タイムトラベル中大125」を125周年事務局から譲り受けました。

本書は中央大学創立125周年を迎えるにあたり、中央大学の歴史を広く知ってもらうために企画・出版されたものです。

大学史編纂課では、以前、学員会発行の『学員時報』に150回近くにわたって「タイムトラベル中大百年」を連載してきました。これは、中央大学の歴史にとって重要なできごとをはじめ、学員が

興味をもつであろう話題、意外と知られていない事実、大学関係者の人間味溢れるエピソードなどを選び紹介したものです。

本書は、それらを編集しなおし、また、中央大学100周年以後の特記すべき歴史などについて新たに書き下ろして、125話にまとめたものです。1話ごとに完結する親しみやすい読み物となっていますから、中央大学の歴史について気軽に、そして楽しく触れていただけます。



なお、本書は非売品で、創立125周年記念式典ご参加者に記念品として配布されました。

今回、125周年事務局のご好意により、当会が何冊か譲り受け、被災地学生支援募金に協賛していただいた方に謹呈することといたしました。

## 交流戦「中大VS読売巨人軍」は3-3の引き分け

「中央大学野球部VS読売巨人軍」が3月1日、ひむかスタジアム(宮崎県総合運動公園第2硬式野球場)にて行われました。この試合は、日本学生野球憲章の改正

に伴って実現した大学野球とプロ野球との交流戦で、野球関係者ばかりでなく、一般からも大きな注目を集めました。

中大・入江選手(法3)を先発に起用した試合は、4回表、5番二十八(つちや)選手(文1)のセンター前タイムリーヒットと西銘選手(法2)の好走で1点

を先制するも、4回裏に巨人・伊集院選手のソロホームランで同点に追いつかれました。6回表7番キャッチャー飯田選手(商2)のライトへのソロホームランと、その後の攻撃で3対1としましたが、7回裏に追いつかれ、3-3の引き分けで終了しました。58会では硬式野球部の応援を行っています。(写真は中央大学ホームページから)

## 2010年度の主な活動

白門58会の活動はホームページで、投稿やメールもお待ちしています。

2010年

- 6月12日 設立総会(駿河台記念館)
- 7月 6日 年次支部協議会(駿河台記念館) 吉住幹事出席
- 8月28日 中央大学野球部激励会(58会主催・八王子) 内村会長、太田幹事、柳幹事出席
- 9月25日 中央大学学員時報に設立総会記事投稿が掲載
- 11月13日 中央大学125周年記念式典(多摩校舎) 内村会長、中川事務局長出席
- 12月27日 125周年関係資料発送(会員・非会員合計1,008件)

2011年

- 4月15日 幹事会(祖師谷大蔵)
- 5月13日 学員会支部長会議(駿河台記念館) 内村会長出席
- 5月14日 学員会総会(駿河台記念館) 中川事務局長出席
- 6月11日 幹事会・53会合同会議(成城学園)
- 6月15日 会報2号発行

白門58 検索

## 会員から(寄稿)

## 「失って得るもの」

黒木康夫(商・会 宮崎・日南市在住)

「非常事態」を脱した宮崎は、今から復活に思う矢先の今回の国難、宮崎の相次ぐ災難かすんでしまいました。今は日本全体がどうなるんだろうという感じですね。電気の「配給」が頼りない、超不安な今、日本人は「節電」を得ましたね。

私は昨年11月の白門宮崎支部会に参加しましたが、同期の参加者はなく、宮崎の同期を探さねばと思っています。特異なキャラの「知事」を失った宮崎ですが、「県民総力戦」で宮崎の復活に貢献したいと思います。

## 「笛と友」

柳 清司(文・文 東京・府中市在住)

山梨県河口湖村の中学校で一日体験教室「親子ふれあい講座・しの笛作り」を始めて3年になる。

中央大学国文の同期生、渡辺幸之助がそこで国語の先生をしていて、私を講師にまねいたのだ。私も都立高校で国語を教えているのだが、笛は18年来の趣味である。師匠から福原幸三郎の名前をいただいている。

10月のとある金曜日の夕刻、高速バスで河口湖に向かい、彼の家に泊まる。翌朝が仕事だ。

技術室に集まった7、8組の親子に竹筒を配って笛を作る。ネズミ歯の錐で竹に穴をあけ、ナイフで寸法通りにひろげてゆく。歌口の上のところにコルクを詰めれば笛になる。

穴をあけたところのささくれなどは、紙ヤスリで丁寧に磨いてやれば、自然の竹と人の手のぬくもりが調和した美しい楽器が出来上がる。

横笛は音を出すのがたいへん難しい楽器だが、皆作りながら試し吹きをするのですぐ鳴るようになる。音が出るととてもうれしい。

吹き方をきちんと教える時間がないので、たいていの親子たちはこの場限りの楽しみで、あとは忘れてしまうことだろう。けれど、こうして教えたうちの何人かはいずれもう一度自分から笛を手にとってみる日が来るに違いない。その時が本当の笛との出会いだ。そして、私のように一生笛とつきあうようになる。

つきあいというのはモノもひとともに同じで、学生時代毎日親しくしていた、卒業後は一度も会わないヤツもいる。が、何かの関係で互いに再び求めあったとき、生涯のつきあいが始まるのではないかな。

今夜(2011, 5, 22)、私は日本橋三越劇場で奥山眞佐子ひとり芝居「十三夜」の笛を吹く。プロの舞台の助演するのは初めてのことである。

そんなふうにも再会した友が何人か来てくれる。渡辺も奥さんと一緒に河口湖から来てくれる。有難いことである。

## 中央大学硬式野球部・応援団激励会のご案内

8月27日、総会後の懇親会では、53会と合同で野球部と応援団の学生を招待して「激励会」を開催します。

春季東都大学野球リーグでは、中央大学硬式野球部は勝ち点2をあげ、4位という結果に終わりました。

白門53会・58会の有志で神宮球場に行き、学員各位と一緒に応援しましたが残念な結果となりました。

そこで、当会の総会後の懇親会に白門53会・58会の共催で硬式野球部及び応援団コアのメンバーをゲストとして招いて、右記の要領で秋季リーグ優勝に向けた「激励会」を開催したいと思います。

ご出席いただける方は、eメール、Fax、またはTelにて、8月15日(月)までにお知らせくださいますようお願いいたします。

58会2011年総会と同じ施設内ですので、総会後の懇親会として「流れ」ます。

当会会員以外の方でも中央大学の硬式野球部・応援団の応援をくださる方すべて大歓迎です。

については、年次会、地域会、職域会、ご家族など、お知り合いの方へ参加を呼び掛けて頂きたいとお願ひします。

中央大学硬式野球部・応援団激励会

日時 8月27日(土)

場所 成城ホール4階

世田谷区成城6-2-1

TEL03-3482-1313

小田急線「成城学園前駅」下車徒歩4分

17時:受付開始、17時半:懇親会・激励会開始

会費 5,000円/人(些少ですが、野球部・応援団への寄付含む)

子供2,000円/人